

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年03月08日

計画の名称	さいたま市の安全な都市をつくる下水道整備<第2期> (防災・安全)											
計画の期間	平成28年度 ~ 令和02年度 (5年間)										重点配分対象の該当	
交付対象	さいたま市											
計画の目標	下水道整備を行い、「生活環境の改善と活力ある都市づくり」、「市民の生命と財産を守る安全な都市づくり」、「環境と調和した循環型社会」の実現を図る。											
全体事業費 (百万円)	合計 (A+B+C+D)	23,303	A	23,303	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標 (定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H28当初)	(H30末)	(H32末)
1	下水道整備を行い浸水被害の軽減を図る。 実施率=浸水対策完了面積 (ha) / 優先的に浸水対策を実施すべき (重点地区) 面積 (ha) ※面積1080ha	13%	60%	100%
2	下水道管渠施設を長寿命化することで、安定した下水道サービスを提供する。 実施率=当面の対策が不要と確認された管路延長 (km) / 合流区域における管路延長 (km) ※延長504km	68%	96%	99%
3	下水道管渠施設の耐震対策を実施し、地震時の流下機能を確保する。 実施率=耐震性能を有する管路延長 (km) / 緊急輸送道路下 (合流区域内) 及び、重要施設の排水を受ける管路延長 (km) ※延長274km	35%	50%	66%
4	下水道施設を長寿命化することで、安定した下水道サービスを提供する。 実施率=第一期長寿命化工事の完了している下水道施設数 (箇所) / 長寿命化が必要な下水道施設数 (箇所) ※19箇所	11%	53%	95%
5	下水道施設の耐震対策を実施し、地震時の流下機能・処理機能を確保する。 実施率=耐震性能を有する下水道施設数 (箇所) / 下水道施設数 (箇所) ※20箇所	45%	75%	95%

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	<input type="checkbox"/>	定住自立圏を含む	<input type="checkbox"/>	連携中枢都市圏を含む	<input type="checkbox"/>	流域水循環計画を含む	<input type="checkbox"/>	地域再生計画を含む	<input type="checkbox"/>	避難確保計画の策定	<input type="checkbox"/>	避難行動要支援者名簿の提供	<input type="checkbox"/>
-----	-----------	-----------------------	----------	--------------------------	----------	--------------------------	------------	--------------------------	------------	--------------------------	-----------	--------------------------	-----------	--------------------------	---------------	--------------------------

A 基幹事業																				
基幹事業 (大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H28	H29	H30	H31	R02				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	さいたま市	直接	さいたま市	管渠 (雨水)	新設	浸水対策 (公園3号幹線管渠) A-1-1	φ2,400、L=1.8km、V=8,400m ³	さいたま市	■	■				1,298		—	
		下水道浸水被害軽減総合事業																		
	A07-002	下水道	一般	さいたま市	直接	さいたま市	管渠 (雨水)	新設	浸水対策 (谷場2号幹線管渠) A-1-2	φ1,000~2,000、L=2.0km、V=6,200m ³	さいたま市	■	■				1,360		—	
		下水道浸水被害軽減総合事業																		
	A07-003	下水道	一般	さいたま市	直接	さいたま市	管渠 (雨水)	新設	浸水対策 (雨水貯留施設導入管渠) A-1-3	φ350~1,100、□600×600~800×600	さいたま市	■	■				526		—	
		下水道浸水被害軽減総合事業																		
A07-004	下水道	一般	さいたま市	直接	さいたま市	管渠 (雨水)	新設	浸水対策 (管渠・調整池) A-1-4	φ1,500~2,000、□2,000×1,500~2,500×2,500、調整池	さいたま市	■	■				791		—		
A07-005	下水道	一般	さいたま市	直接	さいたま市	管渠 (合流)	改築	改築更新 (50年経過管) A-1-5	延長 L=2km	さいたま市	■	■				144		策定済		
	下水道長寿命化支援制度、下水道総合地震対策事業																			
A07-006	下水道	一般	さいたま市	直接	さいたま市	管渠 (合流)	改築	地震対策・改築更新 (管渠) A-1-6	延長 L=87km	さいたま市	■	■	■	■	■	10,168		策定済		
	下水道総合地震対策事業、下水道ストックマネジメント支援制度																			

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名	事業内容	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		種別	種別	対象	間接		種別1	種別2	(事業箇所)	(延長・面積等)		H28	H29	H30	H31	R02				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-007	下水道	一般	さいたま市	直接	さいたま市	ポンプ場	改築	地震対策・改築更新(ポンプ場) A-1-7	ポンプ場 9箇所	さいたま市	■	■	■	■	■	4,632		策定済	
		下水道総合地震対策事業、下水道長寿命化支援制度																		
	A07-008	下水道	一般	さいたま市	直接	さいたま市	終末処理場	改築	地震対策・改築更新(処理場) A-1-8	処理場 1箇所	さいたま市	■	■	■	■	■	1,990		策定済	
		下水道総合地震対策計画、下水道長寿命化支援制度																		
	A07-009	下水道	一般	さいたま市	直接	さいたま市	ポンプ場	改築	改築更新(ポンプ場) A-1-9	ポンプ場 11箇所	さいたま市					■	■	2,394		策定済
		下水道長寿命化支援制度																		
											小計							23,303		
											合計							23,303		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制		事後評価の実施時期	
さいたま市公共事業評価審議会		令和5年1月	
		公表の方法	
		さいたま市ホームページにて公表	

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	「生活環境の改善と活力ある都市づくり」、「市民の生命と財産を守る安全な都市づくり」、「環境と調和した循環型社会」の実現
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	<ul style="list-style-type: none"> ・整備促進エリアを中心に、雨水管や雨水貯留施設等の整備を実施し、浸水対策を進めた。 ・老朽化が進行した下水道施設の改築を計画的に進めるとともに、地震による被害の最小化を図るため、下水道管の地震対策を進めた。 ・令和2年度末までにポンプ場等19箇所の耐震化を実施し、設備等の改築更新を18箇所で行い、安全度が向上した。

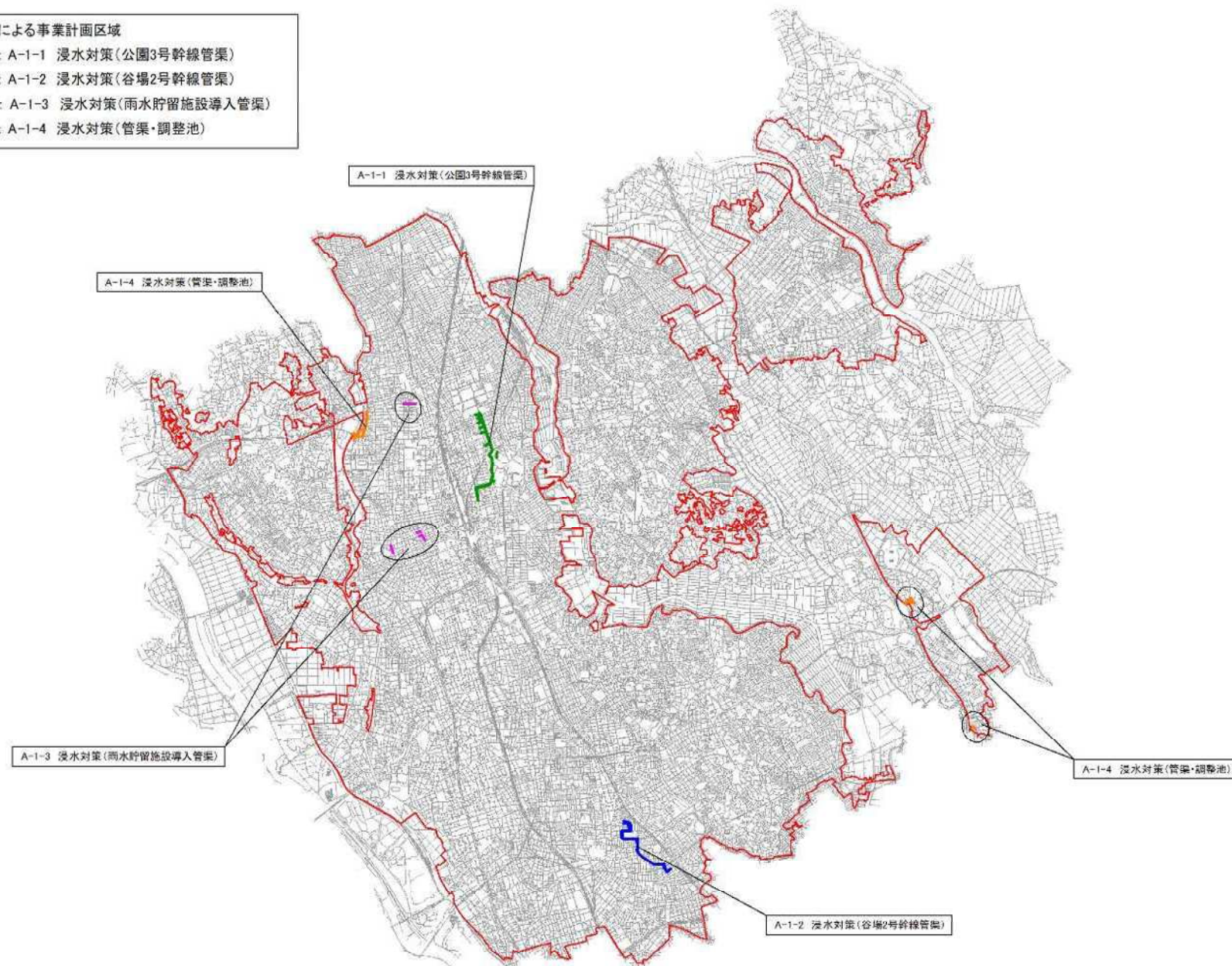
○特記事項（今後の方針等）

<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、浸水被害の発生状況や、市民要望などを踏まえ選定した整備促進エリアを中心に、1時間当たり約56ミリメートルの降雨に対応できるよう雨水管や雨水貯留施設等の整備を実施する。 ・引き続き、改築更新では老朽化する下水道施設の点検・調査を計画的に進め、異常があった箇所等で改築の対策を実施する。 ・引き続き、地震対策では緊急輸送道路下及び、重要施設の排水を受ける管路施設について、地震時の流下機能を確保するため管路の耐震化対策を実施する。 ・引き続き、ポンプ場の機械・電気設備等について、計画的に改築を実施する。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
実施率＝浸水対策完了面積（ha）／優先的に浸水対策を実施すべき（重点地区）面積（ha） ※面積1080ha		
2	最終目標値	99%
	最終実績値	99%
実施率＝当面の対策が不要と確認された管路延長（km）／合流区域における管路延長（km） ※延長504km		
3	最終目標値	66%
	最終実績値	66%
実施率＝耐震性能を有する管路延長（km）／緊急輸送道路下（合流区域内）及び、重要施設の排水を受ける管路延長（km） ※延長274km		
4	最終目標値	95%
	最終実績値	95%
実施率＝第一期長寿命化工事の完了している下水道施設数（箇所）／長寿命化が必要な下水道施設数（箇所） ※19箇所		
5	最終目標値	95%
	最終実績値	95%
実施率＝耐震性能を有する下水道施設数（箇所）／下水道施設数（箇所） ※20箇所		

さいたま市の安全な都市をつくる下水道整備<第2期>(防災・安全)
浸水対策(管渠・調整池)

- 下水道法による事業計画区域
- 整備箇所: A-1-1 浸水対策(公園3号幹線管渠)
- 整備箇所: A-1-2 浸水対策(谷場2号幹線管渠)
- 整備箇所: A-1-3 浸水対策(雨水貯留施設導入管渠)
- 整備箇所: A-1-4 浸水対策(管渠・調整池)



さいたま市の安全な都市をつくる下水道整備<第2期>(防災・安全)
 改築更新・地震対策(管渠・ポンプ場・処理場)

- 下水道法による事業計画区域
- 整備箇所: A-1-5 改築更新(50年経過管)
- 整備箇所: A-1-6 地震対策・改築更新(管渠)
- 整備箇所: A-1-7 地震対策・改築更新(ポンプ場)
- 整備箇所: A-1-8 地震対策・改築更新(処理場)
- 整備箇所: A-1-9 改築更新(ポンプ場)

